

人口 72,808(+136)  
 { 男 34,811  
 女 37,997 }  
 世帯数 21,523(+22)  
 ( )内は前月比

# 大 報

# おおだて

9月1日号 (No.326)

編集と発行 — 大館市役所  
 (電話49-3111)  
 発行年月日 — 昭和57年9月1日  
 発行日 — 毎月1・16日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

〈広報は早めにまわしましょう〉



▲テープカット—午後3時、テープカットによって夏まつり行事が開始



▲一万人おどり—各地区婦人会、小学生などのほか、秋田・鹿角・男鹿のミス観光もおどりに参加

▼歩行者天国—今日一日は道路の真ん中で遊ぶチビッコたち

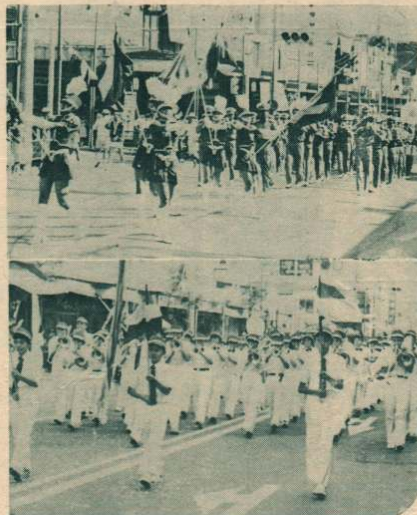


▲消防とチビッコのつどい—消火器の使い方などを実地訓練しました



◀オープニングパレード—県警音楽隊 小中学校鼓隊など1,000名が行進

▼大文字焼「点火」—今回は、9人の市民が参加。市長の合図で一斉に点火



### 秋の七草

春の七草は食用としての野草ですが、秋の七草は觀賞用としてのものが主体です。

秋の野に咲きたる花を指折り数ふれば七くさの花 萩が花 尾花(ススキ) 葛花 などでこの花 女郎花 藤袴 朝顔(キキョウ) 〃と山上憶良が詠んだのが秋の七草の代表的な種類として親しまれてきました。ススキは日本で一番多い草と言われます。初秋の頃、山路や峠路のどこへ行ってもススキでいっぱいですね。



### 三歳時記

9月

陰曆異名・長月(ながつき)  
 花曆・ふよう(織細美)  
 誕生石・サファイヤ(誠実)

＜9月の主な行事＞

- 1日・防災の日、防災週間
- 15日・敬老の日、老人福祉週間
- 19日・教育の日(文化会ほまか)
- 21日・全国交通安全運動(～30日)
- 23日・秋分の日
- 26日・市民大運動会

### 巡回無料法律相談所を開設

市民相談室では、昭和五十五年からくらしの法律相談所を開設し、幾多の実績を上げてきました。

今回は、東洋大学法学部教授による巡回無料法律相談に、変更して行われます。急激な社会情勢の複雑化に伴い、借地、借家、相続、贈与、土地、建物、夫婦、親子関係など、法律問題でお困りの方は、この機会にご相談ください。

ハと き 9月17日(金) 午前10時～午後4時  
 (受付は午後3時まで。相談者多数の場合は、先着二十人で締切ります)

ハところ 市役所会議室  
 相談に来られる方はできるだけ多くの資料(契約書等)をご持参願います。

ハ担当者 平尾賢三郎教授  
 三野陽治教授  
 森達教授

ハ申込み 盛岡一夫助教授  
 市民相談室へ電話または直接申込みください。



49-3111 内線 214

市民大運動会



ガンは怖くない

兄弟で大文字焼点火を体験

安保 透さん

明さん (東台四丁目)

「炎や火の粉が巻き上がってくるので、だいたい離れていても暑かった」と兄の安保透さん。「大館の夜景がきれいだった」と弟の明さん。今年、明さんが成人を迎えた記念すべき年。「これを記念してというわけじゃないが何かおもしろそうだな」と思っ

9月はガン制圧月間



本市ではガンで百二十三人が死亡

本市で五十六年中に脳卒中で亡くなった方が百三十三人

年に一度は検診を

五十六年にガンで亡くなった方は、全国で十六万六千人で脳卒中による死者を上回り、初めて死因のトップになりました。また、全死亡者数に占めるガンによる死者の割合は、二二・一%になりました。九月は「ガン制圧月間」です。早期発見と早期治療を心がけましょう。

ガンの種類別でみますと、胃ガンが四十二人、肺ガンが十八人、直腸ガン十人、すい臓ガン十人、乳ガン五人、肝臓ガン五人、子宮ガン、食道ガンの順となっています。

市では、ガンや脳卒中などの成人病予防のため、毎年胃検診、婦人ガン検診、循環器検診などを実施しています。

五十六年に胃検診を受けた方は千九百九十人、婦人ガン検診は二千八百七十三人、五十七年は胃検診が二千七百二十二

胃ガン、子宮ガン、乳ガンなどの早期診断の方法は、もはや確立されたといっても過言ではないし、その他のガンの診断法

は、年々多くなってきています。が、「自分は絶対大丈夫だろう」と検診を受けない方もたくさんいます。しかし、こういう方に限ってガンで亡くなる方が多いのです。

ガンの、無症状のうちに芽はえ、症状が出てからでは手遅れなのです。一年に一回は検診を受け早期発見に努めましょう。なお、後期の婦人ガン検診は

ガンの予防対策12条

- 1. 偏食しないでバランスのとれた栄養をとる。
2. 同一食品を繰り返してとらない
3. 食べ過ぎを避ける。
4. 深酒はしない。
5. 喫煙は少なくする。
6. 適量のビタミンA、ビタミンC、ビタミンEをとる。
7. 塩辛いものを多量に食べない。
8. あま辛熱いものは食べない。
9. ひどく焦げた部分は食べない。
10. かびの生えたものは食べない。
11. 過度に日光にあたらぬ。
12. 体を清潔に保つ。
(国立がんセンター研究所杉村所長)

56年死因順位のトップ 四人に一人はガン

多く、六十歳代、五十歳代、四十歳代の順となっています。

ガンは現在でも確かに恐ろしい病気の一つです。まかり間違えば確実に「死に到る病」となるからです。

過去二、三十年程前まではガンは身体のどこかのガンであつても、ごく限られた運の良い人のみが、その命を救われたにすぎなかつたのですが、現在の医療技術はガンの早期診断や治療法に、相当の力を発揮するようになり

ました。胃ガン、子宮ガン、乳ガンなどの早期診断の方法は、もはや確立されたといっても過言ではないし、その他のガンの診断法

は、年々多くなってきています。が、「自分は絶対大丈夫だろう」と検診を受けない方もたくさんいます。しかし、こういう方に限ってガンで亡くなる方が多いのです。

たすに合理的に立ち向うことです。

十月下旬に実施する予定ですが詳細は、九月十六日号広報でお知らせします。

保健センター保健指導医

高橋哲郎さん談

「まちづくりと文化」を

考える県民の集い

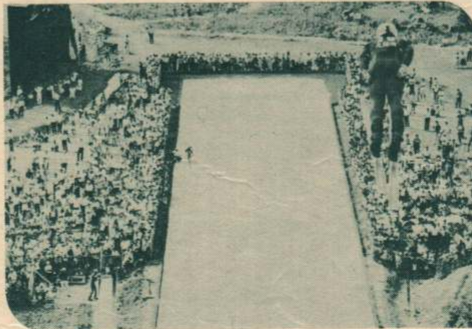
「まちづくりと文化を考える県民の集い」が本市で開催されます。秋田県の文化行政についてあなたも考えてみませんか。

▼日時 9月9日(木) 9時30分~16時30分

▼内容 基調講演 「地域社会と文化開発」 学習院大教授 加藤秀俊氏 実践報告

フォトニュース

▼8月15日 長根山アストロジャンツエで、ジャンプ競技が行われ、全国から集まったジャンパーが華麗な飛行を見せてくれました。



第四回サマースキー大会



▲ローラースキー競技は猛暑の中長木川堤防道路で行われ、選手たちは汗だくになりながらスキーを滑べらせていました。



先月十四日、市民文化会館で五十七年度平和祈念・戦没者合同慰霊祭が行われ、戦没者の冥福と恒久平和を祈りました。

9月19日(日)は

教育の日

今年で7回目を迎える「教育の日」は、市民の皆さんに教育活動へ参加していただくこととめられたものです。日程は次のとおりです。
9時~9時50分 ・記念パレード
<市民文化会館>
9時50分~12時30分 ・プラスバンド演奏
・パネル討論集會・記念論文発表、表彰
13時~16時 ・記念講演「人の心をつなぐ言葉」
・エッセイスト下重つとさん
・楽しく学ぶ集い
<中央公民館> 図画、版画、書道展など
<商工会館> 発明工夫展

留山健治郎

顔を支えているのは身体であり、身体を支えているのは足です。という極めて自然のことを忘れて、健康な足がなくてこそ健康な内臓が保たれますし、丈夫な内臓があつてこそ美しい顔があるのです。そしてこの本質を失わない心があつてこそ、美しい顔に輝く目が存在するのではないのでしょうか。
近代文明はすばらしい便利社会をつくりましたが、便利な余り健全な心(精神力)を失わせつつあるのではないかと、健康な身体、健康な心は健康な社会でこそ生まれ、育てることができるとは思いませんか。
今この社会が果して健康でしょうか、近い将来大変な不健康となる不安な世が来ないでしょうか。その不健康要素をとり除くためにはどうしたらよいのでしょうか。
それは民主主義社会の原理、原点であるコミュニケーションであり、住民参加でありましょう。そして、密室、独裁こそ最大の敵とならなければなりません。
そして、少数意見こそ尊重され、その不安をとり除くことが保持されなければ形式民主主義といわれても仕方がないのではないのでしょうか。



市長の対話ノート

No. 55

本質を見失わず 「美ほう」 誰でも望み、努力し、その欲望に応えようとする職業まであります。
社会人ですから他人に不快感を与えるより快感を与えようとする努力は程度はともかく必要なことでもあります。しかしその本質は「健全と健康」であるといふことではないでしょうか。
とかく容姿、とりわけ「顔や姿」だけを美しさの評価の大部分と見て、いるようですがそれは極めて不健康であります。

ゴミは完全に水切りして、最近、ゴミ収集地に出されてるゴミから汚水が流れ出て、付近に悪臭が漂っています。

# 社会人としてのスタート 成人おめでとう

成人おめでとう——57年度成人式が先月15日、市民文化会館で開かれました。夏の成人式に切り替えて今回で13回目、暑さにもかかわらず昨年をおよそ50人上回る749人が参加、成人としての自覚を深めました。成人を代表して次の5人の方々から抱負やご意見をいただきました。

## 社会人として今思うこと



安達 緑  
(会社員、一心院南)

先日、一生に一度きりの成人式に出席してまいりました。成人云々ということよりも、ただ昔の友人たちに会えたという懐かしさと、嬉しさだけだったように思われます。私自身、二十歳の誕生日



七百四十九人が参加して行われた成人式

## 農業に夢をかけて



小畑 公悦  
(農業、二井田)

仕事は農業、人前でも胸を張って職業を言えます。農業も近年若い就農者が減り、現在は、水田利用再編対策と貿易摩擦の影響など、農業には暗い話題ばかりです。ついこの間まで県外研修をしてトマト作りを学んできました。肥料を溶かした水を循環させ野菜を作る、これから

からは一年以上も経っていますし、今さら成人としての心構えといっても、特に感じることはありません。

ただ、今以上に社会人として成長していかなければならないし、何をやるにしても甘えは許されたいと思います。振り返ってみると、やはりまだ未成年の部分が多く残っている自分にハッとすることがよくあります。

これから少しずつですが、本当の意味での成人に近づいていきたいと思います。

## まだまだ学ぶことが



佐藤 和康  
(学生、有浦)

成人式を迎えたからといって日常の生活に変わりが出てくるわけではないが、ひとつの節目として心構えが変わる。成人といっても、自分はまだまだ学生で、学生生活が毎日忙しく、まだまだ学ぶことがたくさんある。今後も多くの人から意見を聞いたり、自分で体験し成人になったという自覚を持ち徐々にそれなりの自分の意見を言うようにしていきたい。が社会に対して望むことは、欲を言えば足りませんが、政治について一言言えらば、一般の意見を受け入れてもらいたい。何においてもそうであるが、自分たちだけの企画、運営では悪影響が生じさせないのだから……

の農業の新しい分野です。この栽培を行い、消費者からお祝いと言われる野菜を作るのが私の夢です。

仕事が終われば、青少年ホームに行ったり、サークル活動をしたり、友人と話しをするのが楽しいです。若者が集まり、夢がふくらむ施設です。もっと多くの人に利用してもらいたいと思います。

若いからできることは、今のうちに挑戦してみることが青春と思えます。親から見れば、子どもはいつまでも子ども、事によっては反対もされたり一度きりしかない人生、買えない時間と青春に、力いっぱい挑戦してみたいと思います。

## 成人を記念して献血に協力



成人代表佐々木正治さんが「立派な社会人になります」とあいさつ



## 思いやりの心



石田 幹子  
(銀行員、有浦)

今、私が最も必要と思うものは、それは思いやりを身につけることである。相手の立場になって物事を考えてみることはとても大切なことだと思う。そのことによって、自分のいたるべき道がよくわかるのではないだろうか。

気をつけているつもりでも、どこか相手に対する感情が露骨に表われてしまっている。どんな時でも、思いやりを持つ

## これからの自分



杉淵 幸治  
(会社員、雪沢)

接したいものだ。二十歳になったからといって、現在の環境に大きな変化もなく、精神的に未熟な私としては、成人になったという自覚さえほとんどない。けれども、あせることなく一歩一歩成長していきたいと思う。

## 高校を卒業して、早くも三年目。成人

になった自分。今までは、大人になつたらどんな感じになるのだろうと思つたことがたまたまありました。周囲を見回して、こんな感じにと生活の中で知りあつてゆく人々に自分がかかされて見ても見つかりません。それはやっぱり、人それぞれ個性があるからだと思います。今、それがなくなったのは、自分だけの持つていく考え方が出てきて、それはやがて、自分の行動にも責任が持てる様になってくること。このことは成人を迎えた人達に共通に言えることだと思います。ただ、ただの頃は、今やと生まれ変わった赤ちゃんと等しく、これからの二十代で少しずつ、見えてくるようにしたいと思えます。



成人式の前日行われた成人祭には約五十人が参加、長根山までの記念ハイクと植樹。桂城公園ではロック演奏とティスコダンスを楽しみました。



## 二十歳と選挙権



二十歳になれば選挙権が与えられます。

私たちは選挙権を行使する。これによって、国の政治をはじめ、県や市の地方の政治にも参加することになります。よからし、実際に投票できるようになるには「選挙人名簿」に登録されなければなりません。市の選挙管理委員会は、市内に住所があり、かつ、三か月以上住民基本台帳に登録されている方の中から、満二十歳以上になった方を毎年九月(選挙があればその選挙の直前)に選挙人名簿に登録され、住所を移動しない限り永久に登録されます。引越などで住所を変えた場合には、必ず住民票の異動届をしてください。そのまましておきますと「選挙権」の行使ができなくなってしまう。また、大学生の場合、住所は原則として学校の寮、又は下宿等のある所です。従って当市から住所を移していないため、市の選挙人名簿に登録されている方も、大学生であることが判明すれば当市での投票はできません。大学生は就学地へ住所を移すようになっています。

来年は、春に県知事及び県議会議員、それに市長及び市議会議員の選挙が、夏には参議院通常選挙が行われる予定です。立候補者をよく知り、自分の代弁者としてふさわしい人を選びましょう。

△選挙人名簿の縦覧について▽  
昭和五十七年九月二日に選挙人名簿へ登録した方の氏名住所、生年月日を記載した書面を次により縦覧に供します。  
期間・9月3日(7日) 午前8時半~午後5時  
場所・選挙管理委員会事務室 4913111  
内線297  
(土曜日午後と休日は市役所直直室で行います)

## はたち、のみなさん 国民年金に 加入しましょう



国民年金に加入しましょう。はたち、のみなさん。国民年金に加入しましょう。

# 市民と語る会

対話の集い市民と語る会が各地区ごとに行われています。今月の日程は次のとおりです。皆さん多数ご出席のうえご意見、ご要望等をどしどしお出しください。

- ＜と き＞
- 9月2日(木) 御成町一丁目消防車庫
  - 3日(金) 五丁目会館
  - 6日(月) 桂城児童センター
  - 8日(水) 通町会館
  - 30日(木) 保健センター
- ＜と ころ＞
- ＜じかん＞ 午後7時半～9時半

# 敬老会

- ＜と き＞
- 9月7日(火) 二井田公民館
  - 8日(水) 真中多目的集会所
  - 12日(日) 成章中学校
  - 15日(水) 花岡体育館
  - 27日(月) 市民体育館 (大館第4・5地区)
  - 28日(火) " (大館第1・3地区)
  - 30日(木) " (大館第2・6地区)
- ＜じかん＞ 午前11時から

# 市民の善意

- ◆教育委員会扱い
- 大館青年会議所 市立図書館へ30万円
  - 加賀谷純一さん(釈迦内) 座卓 6脚
- ◆老人ホーム扱い
- 匿名 野菜類
  - 鈴木兵衛さん(軽井沢) 野菜類
  - 中嶋藤太郎さん(川口) 野菜類

# 公民館の窓

- ◆老壮大学
- と き・9月16日(木) 午前10時
  - と ころ・中央公民館
  - 内 容・老壮大学文化祭



「第13回市民読書感想文」を次の要項により募集します。市民の皆さんの読書を一層深く豊かなものにするため、奮って応募ください。

＜応募資格＞ 高校生以上の大館市民  
＜課題図書＞

- (1) 本覚坊遺文 (井上靖・講談社)
- (2) 悪魔の飽食 (森村誠一・光文社)
- (3) おおる草紙 (三浦哲郎・講談社)

課題図書と自由選択図書いずれでも可。  
＜枚 数＞ 四百字詰め原稿用紙五枚以内  
＜審査員＞ 小林 繁春氏(元能代高校長) 荒谷 浩氏(県教育センター所長) 成田 健氏(花岡小学校教諭)

入賞者には賞状及び賞金を贈ります。  
最優秀作 一名 賞金二万円  
優秀作 二名 " 一万円  
佳作 五名 " 五千円

＜発 表＞ 入賞者の発表は読書週間中(十月二十七日～十一月九日)個人に通知するほか、入賞作品は「北鹿新聞」紙上に掲載し、広く市民に紹介します。

＜締 切＞ 十月五日(火)まで必着  
＜提出先＞ 市内字三の九一〇三四の市立図書館内  
『第13回市民読書感想文募集』

＜注意事項＞

- ・応募原稿は提出するとき、次のことを別の原稿用紙へ記入し感想文の上に添付してください。
- ①題名②住所③氏名④生年月日⑤職業または学名と学年⑥電話番号⑦本の題名・編者または訳者、発行所
- ・応募作品は未発表のもので一人一編に限り、必ず原稿用紙を使用し、ペンで清書してください。
- ・応募作品は返却いたしません。その他不明の点は市立図書館(☎4212525)へお問い合わせください。
- ・感想文について(参考)
  - △作品の主題を的確に把握すること
  - △作品と自分との関係を述べること
  - △客観的に読得できる内容であること
  - △誤字・脱字に注意、語いを選択し語法、修辭に十分注意すること
  - △制限枚数の無駄のない活用

# 市町村統計総覧の二購読を

これまで市町村に関する統計は、それぞれの機関で分野ごとに作成されていますが、今度昭和五十五年国勢調査の結果が公表されたのを機に、指定統計をはじめとして各種統計資料を市町村別に、土地、人口、行財政

と き・9月5日(日)  
午前9時半  
と ころ・市民文化会館  
内 容・式典、テレビコ演芸  
市内パレードほか  
主 催・市子ども会育成連合会

# 大館市子ども会大会

◆二種混合予防接種  
対 象・53以降に生まれ、すでに百日咳にかかった幼児  
申 込・9月10日まで  
保健センター衛生係  
☎4219055

# 三種混合予防接種

◆三種混合予防接種  
9月21日(水) 十二所公民館  
9月29日(水) 花岡  
生後24～48カ月の幼児  
9月22日(水) 保健センター  
55年5月～6月生まれの幼児  
9月28日(火) "  
55年7月～8月生まれの幼児  
9月9日(木) " (二期)  
対 象 者 には個人通知します



# ケイトウ

など十部門に分類し、昭和五十年から五十五年までの分をまとめてみました。どうぞ一購読ください。  
定 価・三千五百円  
申 込・9月16日まで市役所企画室へどうぞ  
☎4913111 内線271

# 健康教室の開設

と き・10月14日(木)  
午後1時半～3時  
と ころ・保健センター

内 容・胃腸病について  
講 師・高橋哲郎先生  
申 込・10月13日まで  
保健センター  
☎4219055

# 環境衛生週間

九月二十一日から二十七日までは「環境衛生週間」です。年々ごみの量は増大していますが、快適な環境づくりのため、この機会にごみの処理の仕方についても一度点検してみましよう

# 銃剣・刀剣巡回登録審査会

と き・9月16日(木)  
午前10時～午後3時  
と ころ・中央公民館

# 教育の日 記念論文を募集

＜テーマ＞教育に関するもの  
＜資格＞市民・勤労学生(学生は不可)  
＜締切り＞9月13日(月)  
＜原 稿＞四百字詰め原稿用紙五枚以内(住所、氏名、年齢、職業を別紙に名記すること)  
黒インクまたはボールペンを使用すること  
＜応募先及び問合せ＞  
大館市字中城二十番地  
大館市教育委員会社会教育課  
☎4913111 内線255  
＜入 選＞  
最優秀・一編 副賞 二万円  
優 秀・二編 " 一万円  
佳 作・三編 " 五千円  
△発表及び表彰  
9月19日の「教育の日」に文化会館で行います。

# あなたの文芸 作品募集

募集作品・詩、小説、評論ほか  
締切り・10月31日  
応募資格・県内に住む満二十歳以上の方  
送り先及び問合せ  
秋田市山王四丁目一の二  
県教育庁文化課  
あなたの文芸係

# 漏水調査のお知らせ

※募集要項希望の方は、五十円切手貼付の返信用封筒を同封のうえ保まで申し込みください。  
赤館  
9月26日(日) 田代町一・二区  
南町、一心町、曙町  
9月27日(月) 長倉町、愛宕町  
独結町、川原町、柴町  
9月28日(火) 末広町、弁天町  
大正町、泉町  
9月29日(水) 水門町、豊町、  
9月30日(木) 萩野台、南ヶ丘  
たつみ町、柄沢、緑ヶ丘

# 中神明町下水路を都市下水路に指定

市では、第一中学校南側の下水路を都市下水路に指定しました。これは、清潔な環境づくりをするため、市がこの下水路を管理するため、今年中に下水路築造工事を行います。

# 働く婦人の家 受講生を募集

働く婦人の家では九月から次の講座を開講します。  
手芸教室 毎週金曜日  
書道 " 月曜日  
料理 " 木曜日  
生花 " 第一・三火曜日  
着付 " 毎週木曜日  
時間・18時30分～20時30分  
定 員・各教室とも30名  
申 込・9月7日  
場 所・婦人の家  
(4217028)



「第13回市民読書感想文」を次の要項により募集します。市民の皆さんの読書を一層深く豊かなものにするため、奮って応募ください。

＜応募資格＞ 高校生以上の大館市民  
＜課題図書＞

- (1) 本覚坊遺文 (井上靖・講談社)
- (2) 悪魔の飽食 (森村誠一・光文社)
- (3) おおる草紙 (三浦哲郎・講談社)

課題図書と自由選択図書いずれでも可。  
＜枚 数＞ 四百字詰め原稿用紙五枚以内  
＜審査員＞ 小林 繁春氏(元能代高校長) 荒谷 浩氏(県教育センター所長) 成田 健氏(花岡小学校教諭)

入賞者には賞状及び賞金を贈ります。  
最優秀作 一名 賞金二万円  
優秀作 二名 " 一万円  
佳作 五名 " 五千円

＜発 表＞ 入賞者の発表は読書週間中(十月二十七日～十一月九日)個人に通知するほか、入賞作品は「北鹿新聞」紙上に掲載し、広く市民に紹介します。

＜締 切＞ 十月五日(火)まで必着  
＜提出先＞ 市内字三の九一〇三四の市立図書館内  
『第13回市民読書感想文募集』

＜注意事項＞

- ・応募原稿は提出するとき、次のことを別の原稿用紙へ記入し感想文の上に添付してください。
- ①題名②住所③氏名④生年月日⑤職業または学名と学年⑥電話番号⑦本の題名・編者または訳者、発行所
- ・応募作品は未発表のもので一人一編に限り、必ず原稿用紙を使用し、ペンで清書してください。
- ・応募作品は返却いたしません。その他不明の点は市立図書館(☎4212525)へお問い合わせください。
- ・感想文について(参考)
  - △作品の主題を的確に把握すること
  - △作品と自分との関係を述べること
  - △客観的に読得できる内容であること
  - △誤字・脱字に注意、語いを選択し語法、修辭に十分注意すること
  - △制限枚数の無駄のない活用